

財務諸表分析検定試験 補充問題〔第3回〕

問題1 次の文章の□1から□5のなかに入る適当な語句を下の〔語群〕のなかから選び、その記号を解答欄に記入しなさい。同じ記号（語句）を2回以上用いてもよい。

貸借対照表の資産の部と負債の部は、それぞれ流動と固定に分類される。流動資産と流動負債の金額を利用して短期的な支払能力をみる指標を□1という。この指標は、一般に200%より□2ければ安全性が高いとされている。一方、長期的な安全性をみるための指標として、□3があげられる。この指標は固定資産が減少し、□4い方が安全性が□5いといえる。

〔語群〕

ア．仕入債務回転率 イ．流動比率 ウ．当座比率 エ．固定長期適合率 オ．高 カ．低
キ．売上高売上総利益率

問題2 次の〈資料〉のA社は、商業を営んでいる。この〈資料〉により、次の文章の□1から□10のなかに入るのに適当な語句や数値を、次ページの〔語群〕のなかから選び、その記号を解答欄に記入しなさい。なお、同じ記号を2回以上用いてもよい。

〈資料〉

（単位：百万円）

	前 期		当 期	
	金 額	百分比（％）	金 額	百分比（％）
売上高	3,949,000	100％	4,936,000	100％
売上原価	2,962,000	約 75％	3,850,000	約 78％
販売費及び一般管理費	711,000	約 18％	740,000	約 15％
営業外収益	30,000	約 1％	39,000	約 1％
営業外費用	109,000	約 3％	89,000	約 2％

A社の営業利益は、前期が□1百万円、当期が□2百万円となる。経常利益は、前期が□3百万円、当期が□4百万円となる。

A社の売上高は、前期に比べて増加したにもかかわらず、売上高売上総利益率は、□5％から□6％へ低下した。原因は、売上原価の伸び率が、売上高の伸び率よりも大きかったことにあり、その原因として、□7の上昇や薄利多売型の収益構造へシフトしている傾向などの理由が考えられる。

一方、営業外収益の増加の原因として、受取利息や□8の増加が考えられる。営業外費用の減少の原因として□9の減少が考えられるが、この減少については貸借対照表上の□10の推移を確認してみるとことが有用である。

〔語群〕

ア. 276,000 イ. 987,000 ウ. 197,000 エ. 296,000 オ. 1,086,000 カ. 346,000
キ. 25 ク. 22 ケ. 75 コ. 78 サ. 仕入価格 シ. 販売価格
ス. 経常収益経常利益率 セ. 売上高当期純利益率 ソ. 受取配当金 タ. 支払利息
チ. 株主資本 ツ. 有利子負債

問題3 次の問1，問2に答えなさい。

問1 次の〈資料〉にもとづき，B社，C社の以下の財務指標を計算しなさい。

- ① 総資産当期純利益率
- ② 株主資本当期純利益率
- ③ 固定長期適合率
- ④ 総資産負債比率

(注意事項)

- 1. ①から④の数値は算出結果のみを解答すること。(計算式は不要)
- 2. 答えは，小数点第2位を四捨五入すること。

問2 問1の各数値を踏まえて，解答欄に示した総合的な判断を記入するとともに，判断の理由を次のヒントにもとづいて簡単に答えなさい。

ヒント1 収益性についての総資産当期純利益率，株主資本当期純利益率の期間比較。

ヒント2 安全性についての固定長期適合率，総資産負債比率の期間比較。

要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	B 社	C 社		B 社	C 社
資産の部			負債の部		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	126,000	151,200	支払手形及び買掛金	182,000	218,400
受取手形及び売掛金	182,000	218,400	短期借入金	624,000	762,800
製品及び仕掛品等	387,800	465,360	未払法人税等	1,400	2,680
その他	142,800	171,360	その他	54,600	74,520
貸倒引当金	△2,800	△3,360	流動負債合計	862,000	1,058,400
	835,800	1,002,960	固定負債		
固定資産			社債	102,600	603,120
有形固定資産	620,000	1,504,000	長期借入金	114,000	472,800
無形固定資産	84,000	800,800	退職給付に係る負債	9,800	22,760
投資その他の資産			預り保証金	81,200	95,440
投資有価証券	532,000	638,400	その他	36,400	43,680
繰延税金資産	161,000	193,200	固定負債合計	344,000	1,237,800
その他	67,200	80,640	負債合計	1,206,000	2,296,200
投資その他の資産合計	760,200	912,240	純資産の部		
固定資産合計	1,464,200	3,217,040	株主資本		
			資本金	577,000	1,200,000
			資本剰余金	368,000	545,000
			利益剰余金	129,400	155,280
			自己株式	△2,800	△3,360
			株主資本合計	1,071,600	1,896,920
			その他の包括利益累計額		
			その他有価証券評価差額金	12,600	15,120
			その他の包括利益累計額合計	12,600	15,120
			非支配株主持分	9,800	11,760
			純資産合計	1,094,000	1,923,800
資産合計	2,300,000	4,220,000	負債及び純資産合計	2,300,000	4,220,000

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	B 社	C 社
売上高	416,000	459,200
売上原価	251,200	300,500
売上総利益	164,800	158,700
販売費及び一般管理費	59,100	42,300
営業利益	105,700	116,400
営業外収益		
受取利息・配当金	550	100
その他	50	50
営業外収益合計	600	150
営業外費用		
支払利息	600	1,850
その他	500	200
営業外費用合計	1,100	2,050
経常利益	105,200	114,500
特別利益	40	20
特別損失	240	120
税金等調整前当期純利益	105,000	114,400
法人税、住民税及び事業税	40,080	45,880
法人税等調整額	△80	△80
法人税等合計	40,000	45,800
当期純利益	65,000	68,600
非支配株主に帰属する当期純利益	5,000	8,600
親会社株主に帰属する当期純利益	60,000	60,000

その他の情報

(単位：百万円)

	B 社	C 社
期首総資産	2,200,000	4,080,000
期首株主資本	928,400	1,893,000

問題4 D社の次の〈資料1〉〈資料2〉をもとに、次の文章の□1から□8のなかに入るのに適当な語句や数値を、下の〔語群〕のなかから選び、その記号を解答欄に記入しなさい。なお、同じ記号を2回以上用いてもよい。

キャッシュ・フロー計算書は、企業活動を営業、□1、□2の3つに区分した上で、それぞれの区分ごとにキャッシュ・フローの状況を表示する報告書である。営業活動によるキャッシュ・フロー区分には、間接法で作成すると、キャッシュの変動を伴わない□3、売上債権の増加額、仕入債務の減少額などが記載される。この区分がマイナスからプラスに推移したD社は、損益計算書情報とあわせると、本業の活動が□4されたことを示している。□1活動によるキャッシュ・フロー区分には、□5への支出などが記載される。この区分が2期続けてマイナスのD社は、継続して□5を積極的に進めているといえる。□2活動によるキャッシュ・フロー区分には、□6の発行による収入、配当金の支払い、□7の返済のための支出などが記載される。なお、□2活動に向けられる当年度のフリー・キャッシュ・フローは□8百万円となる。

〔語群〕

ア. 経常 イ. 消費 ウ. 投資 エ. 融資 オ. 財務 カ. 減価償却費 キ. 改善
ク. 悪化 ケ. 負債 コ. 借入金 サ. 設備投資 シ. 株式 ス. 4,200 セ. △27,700
ソ. △6,400

〈資料1〉D社 キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前会計年度	当会計年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	△200	25,600
□1活動によるキャッシュ・フロー	△45,000	△21,400
□2活動によるキャッシュ・フロー	73,400	△32,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	100
現金及び現金同等物の増減額	28,230	△27,700
現金及び現金同等物の期首残高	32,400	60,630
現金及び現金同等物の期末残高	60,630	32,930

〈資料2〉D社 損益計算書より一部抜粋

(単位：百万円)

	前会計年度	当会計年度
売 上 高	310,000	300,000
営 業 利 益	4,650	6,000

補充問題〔第3回〕 解答用紙

問題 1

1		2		3		4		5	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問題 2

1		2		3		4		5	
6		7		8		9		10	

問題 3

問 1

	分析指標名	B 社	C 社
①	総資産当期純利益率		
②	株主資本当期純利益率		
③	固定長期適合率		
④	総資産負債比率		

問 2

総合的に判断するとB社はC社に比べて、

(ア. 良い。 イ. 変わらない。 ウ. 悪い。)

理 由

問題 4

1		2		3		4	
5		6		7		8	